

令和5年度 研究主題

ICTを活用した主体的・対話的で深い学びを通して、
情報活用能力を育む授業の創造

～対話力の向上を目指したICT教育の効果的な活用を通して～

北九州市立門司海青小学校

主題設定の理由

(1) 学習指導要領と社会的背景の変化

これまでの学校教育で
育成してきた能力
新しい能力ではない！

情報活用能力



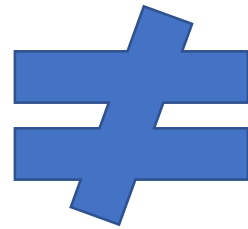
情報を収集
判断・処理
編集・創造
表現・発信
伝達する能力

これらの能力をICTを
使って発揮できるよう
な子どもを育成する

主題設定の理由

(1) 学習指導要領と社会的背景の変化

情報活用能力が
高い



パソコンの
操作が
上手

ただGIGA端末の使用率が上がれば
向上する能力ではない

主題設定の理由

(2) 本校の子どもの実態から

- 相手の気持ちを大事にする。(大人も子どもも)
- 素直、自尊感情が高い。大事に育てられている。
- 自分で考えて行動することが苦手な傾向がある



対話を通して、相手の意見を受けとめたり、自分の思いを伝えたりすることで**自己肯定感を高めたり、人との適切な関わり方**を身に付けてほしい

研究主題の意味

副主題の意味

対話力 . . .

当事者意識をもって話し合いに参加し、様々な意見や情報を分類・整理し、新しい考えを創っていく力のことである

必要な情報を収集・判断・処理・編集・創造・表現し、発信・伝達できる能力の向上が不可欠

研究仮説と仮説実証のための着眼

(1) 研究仮説

子ども同士が教え合い学び合う協働的な学び（協働学習）の場面を設定しICTを効果的に活用し「対話」活動を充実させていけば、深い学びにつながり情報活用能力を育成することができるであろう。

情報活用能力



研究仮説と仮説実証のための着眼

(2) 着眼1 対話や協働の必然性をうむ学習場面の設定

① 1単位時間の学習における対話や協働する場面の意図的設定



子ども達が対話や協働したいと思えるような場面や学習の展開を仕組む。

② 対話スキルの習得

対話スキル表

さあ 対話 しよう！	
受けとめる	質問する
★ あいづち ★ くりかえす ★★ 言いかえる ★★★★ まとめる	★ 知りたいこと ★ 理由 ★ 体験・感想 ★ 同じところ・ちがうところ ★★★ 良いところ・悪いところ
話を進める	答える
★★★ 整理する ★★★★ 新しい見方	★ 話がそれない ★ 理由 ★ 体験・感想 ★ 同じところ・ちがうところ ★★★ 良いところ・悪いところ

対話の話型

さあ 対話 しよう！	
伝える	質問する
・〇〇さんの意見とにっていますが理由が違います。 ・〇〇さんの意見とはちがう考えです。 ・〇〇さんと同じで、～だと思えます。理由は～です。 ・〇〇さんと違って、～だと思えます。	・その意見の理由はなんですか。 ・〇〇さんの考えのここがわからないので詳しく教えてください。 ・どうしてそのように思ったのですか。 ・もっと〇〇について教えてください。
話を進める	答える
・〇〇さんが発言していないので、どう考えているか聞いてみたいです。 ・みんなの考えをまとめて～というようになると思います。それでいいですか。	・〇〇さんの意見の～が同じで～が違います。 ・〇〇さんの考えの～が良いと思います。 ・〇〇さんの考えを聞いて、私は～だと思いました。 ・〇〇さんの考えに～を付け加えるともっとよくなると思います。

研究仮説と仮説実証のための着眼

(3) 着眼2 分かりやすく説明したり、思考や理解を深めたりするICTの活用

①ICT活用場面における活用の「目的」「方法」も明確化

- 子ども達が**必然性**を感じられるようなICT機器の活用を目指す
- そのために、教師が活用の**「目的」**と**「方法」**をはっきり理解する

②情報の整理・解釈・表現・発信する手段としてのICTの活用

- 「情報を整理し、解釈すること」**と**「条件に応じて情報発信すること」**が全国的な課題である
- 今まで模造紙や画用紙にまとめていたものをICTに置き換えてみる

③ICT機器の基本的操作に習熟する時間の確保

- 家庭学習でのドリルアプリの活用
- 朝学習でのタイピングなどの操作習熟の時間確保

研究の取り組み

(2) 研究の流れ

月	研修内容
4月	授業で使えるアプリや機能を紹介し、使い方の研修
5月	ICTと学習の関係についてのアンケートの実施
6月	ICT活用指導カルーブリック表を活用した研修、 提案授業
7月	
8月	GIGA端末が活用できる単元の開発と授業の検討
9月	教材の研究・ 授業実践 、ICTと学習の関係についてのアンケートの実施
10月	教材の研究・ 授業実践
11月	教材の研究・ 授業実践 ・ 公開授業
12月	
1月	
2月	ICTと学習の関係についてのアンケートの実施
3月	

研究の取り組み

(3) 授業実践について

○授業実践の流れ



※単級の学年は事前研なし

○授業実践の役割

学習指導案検討会	担当学年、近接学年、校長、教頭、教務主任、研究主任
B研・事前研 (A研をしない学年1本ずつ)	参観、検討会参加：担当学年、近接学年、校長、教頭、 教務主任、研究主任 ビデオ撮影：必要に応じて 記録（TC、写真、動画）：担当学年
A研（公開授業） (低・高1本ずつ)	参観、協議会参加：全員 ビデオ撮影：必要に応じて 記録（TC、写真、動画）：担当学年、近接学年